



鬼のぜんかんじプリント いちねん 80



なまえ

ねん

くみ

ばん

① 田んぼの土を十かいさわる。
た かい てん た (じゅう)

② 貝の天ぷらを一口に入れる。
かい てん ひと くち い

③ 川の水がためたくて気もちよい。
かわ みず おとこ め き

④ あの村の男は目がよい。
むら おとこ め

⑤ 女の子は文をかいていた。
おんな こ ぶん

⑥ 王さまの名まえを九かいもかいた。
おう な きゆう

⑦ 金の石を木のかげにかくした。
きん いし き

⑧ この先から六人の足音がきこえる。
さき ろく にん あし おと

⑨ 雨の中、力づくよく草をむしる。
あめ なか ちから くさ

⑩ 赤い夕日のまえに立つ。
あか ゆう ひ た

⑪ 右下に正しく字をかく。
みぎ あし ただ

⑫ 左耳に白い糸がついているよ。
ひだり みみ しろ いと

⑬ 七ひきの犬と山にいく。
なな いぬ やま

⑭ 八月のほとんどは学校が休みです。
はち がつ ひやく えん だま

⑮ 三まいの百円玉を手でにぎる。
さん ひやく えん だま て

⑯ 森で大きな虫を五ひき見つけた。
もり おお おお むし ご

⑰ ぼくの町には千本の竹がはえている。
ぼく まち せん ほん たけ

⑱ 青い花火が空に上がった。
あお はな び そら あ

⑲ 林から小さい車が四だい出てきた。
はやし ちい くるま よん

⑳ 早く二年生になりたいな。
はや に ねん せい



のぜんかんじプリント

いちねん 80



なまえ

ねん

くみ

ばん

① 田んぼの土を十かいさわる。

⑪ 右下に正しく字をかく。

② 貝の天ぷらを一口に入れる。

⑫ 左耳に白い糸がついているよ。

③ 川の水がためたくて気がもちよい。

⑬ 七ひきの犬と山にいく。

④ あの村の男は目がよい。

⑭ 八月のほとんどは学校が休みです。

⑤ 女の子は文をかいていた。

⑮ 三まいの百円玉を手でにぎる。

⑥ 王さまの名まえを九かいもかいた。

⑯ 森で大きな虫を五ひき見つけた。

⑦ 金の石を木のかげにかくした。

⑰ ぼくの町には千本の竹がはえている。

⑧ この先から六人の足音がきこえる。

⑱ 青い花火が空に上がった。

⑨ 雨の中、力づよく草をむしる。

⑲ 林から小さい車が四だい出てきた。

⑩ 赤い夕日のまえに立つ。

⑳ 早く二年生になりたいな。



のぜんかんじプリント
いちねん 80



なまえ

ねん

くみ

ばん

(じゅつ)

⑩ あか い ゆう ひ のまえに た つ。

⑨ あめ の なか 、 ちから づよく くさ をむしる。

⑧ この から ろく の あし がきこえる。

⑦ きん の いし を き のかげにかくした。

⑥ おう さまの な まえを きゆう かいもかいた。

⑤ おんな の こ は ぶん をかいていた。

④ あの の むら の おとこ は め がよい。

③ かわ の みず がつめたくて き もちよい。

② かい の てん ぷらを ひと つ くち に い れる。

① た んぼの た を じゅつ かいさわる。

⑳ はや く に ねん せい になりたいな。

⑲ はやし から ちい さい が くるま が よん だい で ってきた。

⑱ あお い はな が そら に あ がつた。

⑱ ぼくの まち には せん の たけ がはえている。

⑱ もり で おお きな を ご ひき み つけた。

⑱ さん まいの ひやく えん だま を て でにぎる。

⑱ はち の がつ の ほとんどは がつ こん が やす みです。

⑱ なな ひきの いぬ と やま にいく。

⑱ ひだり に しろ い がつ いてるよ。

⑱ みぎ あし だけ しく じ をかく。

